

東京西脇多可の会会報

第15号

平成28年1月

■ 西脇事務局 西脇市役所秘書広報課 〒677-8511 兵庫県西脇市郷瀬町605 TEL.0795(22)3111 内線207

■ 多可事務局 多可町役場総務課 〒679-1192 兵庫県多可郡多可町中区中村町123 TEL.0795(32)2380



▲山田錦を栽培している水田（西脇市黒田庄町門柳）。西脇市・多可町産山田錦を使用し多くの銘酒が造られています

会長あいさつ



東京西脇多可の会

会長

小澤豊彦

びば山田錦

山田錦、多可町の名産で最高の酒米と称されています。銘酒に使われていて有名ブランドが多くあり、「山田錦」そのまの名称の銘酒もあります。

私は旅行するとき、ホテルでの飲み物は高価であり、外の酒屋でお酒を買い込んで持ち込むことにしています。今年の夏シカゴへ行ったときも。酒屋を探しましたがなかなか見つからず、やっとチャイナタウンで食後の散歩中見つけました。薄ら汚れた店でしたが、店内には世界のお酒が並んでいました。その中で「山田錦」の中瓶があり買い、ホテルで銘酒を楽しみました。

また12月にはバンコクへ行きました。バンコクは日本料理店が多く、焼き鳥の看板の居酒屋に入りました。10人ほどは入れるくらいの店で値段も日本の相場以下でした。メニューのドリンク欄に「山田錦」を見て感激して注文しました。焼き鳥にはもったいないお酒でしたが美味しくいただきました。

日本の銘酒「山田錦」が間違いなく世界ブランドと認識しました。東京西脇・多可の会の皆さまも旅行の際には「山田錦」を是非探してみてください。きっと見つかると思います。

お正月もご家族そろって「山田錦」をご賞味ください。

多可町・合併10周年

小さくともキラリと光るプラチナタウンを目指して

■旧町の誇りを新町に

平成27年11月1日多可町は、合併から丸10年目の区切りを迎えました。元々が個性豊かな3つの町の合併でした。旧中町は酒米の王様「山田錦」の発祥地、旧加美町は日本一の手漉きコウゾ和紙「杉原紙」の発祥地、旧八千代町は9月15日の祝日を法制化させた「敬老の日」の発祥地です。旧町への思い入れがお互いに強すぎたため、新町の「一体感の醸成」が当初からの課題と捉えていました。

この10年間、それぞれ旧町の誇りを、新町・多可町の誇りへと昇華させることに腐心いたしました。住民の皆さんの「心の合併」と、新町名・多可の知名度アップに向け、全力で取り組んできたところです。

一番に手がけたのは情報共有手法の強化です。防災行政無線の敷設や全国初の民設民営でのCATV「たかテレビ」全町整備を行いました。また、文化会館・ベルディーホールでの各種イベントの開催は、ソフト面での文化の交流と振興に功を奏しています。

日本酒ブームに後押しされて『山田錦』の栽培エリアが、中区を超えて全町域に広がっています。加美区外の小中学校の卒業証書も、何時しか当たり前に、手漉きの『杉原紙』に変わりました。町内全児童・生徒に詩を公募した「敬老の歌・きっとありがとう」が完成し、お年寄りを敬う『敬老の精神』も八千代区を超えて全町に敷衍しました。

ハード面に目を移すと、天船バイパス・曾我井バイパス・清水坂トンネルの開通、合併特例債を活用した中町西線・山野部坂トンネルの新設は、確実に日常の利便性を高めました。学校教育施設の大規模改修や、統合学校給食センターの建設にも合併特例債を優先して活用したところです。

しかしながら、これからの日本を、多可町を、「急速な少子化の進行による人口激減」という未知の難題が確実に襲います。地方部、それも中山間地に位置する多可町は、この厳しい現実から逃避することはできません。近隣の自治体以上に、地方創生の諸課題に真剣に取り組まなければならない所以です。



▲式典で披露された女性グループによる和太鼓演奏



▲左：山田錦大吟醸



右：山田錦の稲穂と妙見山



▲左：杉原紙ブランド「和紙もん」



右：原料コウゾの川さらし



▲左：敬老の日提唱の地碑



右：敬老のうたCD

■多可町版地域創生『きらり輝くプラチナ戦略』策定

多可町では2060年を見据えた「人口ビジョン」を策定し、「まち・ひと・しごと創生・総合戦略」を県下のトップを切って練り上げました。

基本目標を『選べるまち・選ばれるまち 多可町をめざす』と定め、地域資源を活かしたまちづくりへの政策パッケージを提示しています。

もう一つの大きな課題は、災害に強い「安全・安心の町」の構築です。昨今の異常な気象状況の変化は、森林の適正管理や河川・橋梁の再整備・再点検を強く要請しています。

さらには、ダウンサイジングに対応できるスリムで筋肉質な役場組織への変革も不可欠です。

多可町がこれから目指すは「小さくとも、きらり輝くプラチナタウン」です。定住人口の大幅減少に可能な限りの歯止めをかけながら、「小さくともキラリと光る町」でありたい、安全・安心の施策の万全を図りながら「永遠に輝き続ける町」でありたいと、心から願っています。

〈合併10周年記念式典 戸田善規町長式辞より抜粋〉



〔西脇市10年のあゆみ〕

- ◆2005年(平成17年)
 - 新・西脇市誕生
- ◆2006年(平成18年)
 - 黒田庄ふれあいスタジアム完工
 - のじぎく兵庫国体大会開催
- ◆2007年(平成19年)
 - 都麻の郷交流グラウンド完成
 - 播州織工房館オープン
- ◆2008年(平成20年)
 - 市内全域に防災行政無線を整備
- ◆2009年(平成21年)
 - 土づくりセンター「ゆめあぐり西脇」完工
 - 新・西脇病院グランドオープン
- ◆2010年(平成22年)
 - 県道黒田庄多井田線福地上比延バイパス開通
- ◆2011年(平成23年)
 - 市立北はりま農産物直売所「北はりま旬菜館」完工
- ◆2012年(平成24年)
 - 国道175号西脇バイパス4車線化
 - にしわざ上比延工場公園分譲開始
 - 西脇南中学校校舎完工
- ◆2013年(平成25年)
 - 横尾忠則氏に西脇市名誉市民称号を贈呈
 - 学校給食センター完工
 - 双葉小学校校舎完工
- ◆2014年(平成26年)
 - 西脇市時計の丘公園オートキャンプ場交流施設完工
 - (公財)新産業創造研究機構(NIRO)と包括連携協定を締結
- ◆2015年(平成27年)
 - 上戸田浄水場完工
 - 市制10周年記念式典
 - 茜が丘複合施設「Miraie」完工

平成17年10月1日に旧西脇市と旧黒田庄町が合併し、新・西脇市が誕生してから10周年を迎えました。旧市旧町の時代から、西脇市は悠久の歴史のなかで育まれた豊かな自然、伝統ある地場産業、住民同士の深い絆に支えられ、これまで着実に歩みを進めてきました。ふるさと西脇市の発展にご尽力くだされた多くの皆さまに敬意を表し、心から感謝申し上げます。

さて今、西脇市は新たな時代に向けて変革の真つただ中にあります。わが国全体の人口が減少していく中で、現在、地域特性や地域資源を最大限に生かした「西脇市

まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しています。その一環として、国が積極的に地方を支援する「地方創生先行型交付金事業」を活用して、市の魅力を発信する「シティプロモーション」・「おもてなし事業」、若者を呼び込む「ファッション都市構想」など、西脇市ならではの取り組みを進めています。また、昨年は茜が丘複合施設「みらいえ」がオープンしたほか、多彩な記念事業を実施しました。新たな企業の進出も決まりました。市制10周年記念式典では次の20年・30年の節目に向けて、西脇市がさらに飛躍・発展できるよう誓



市制10周年記念式典式辞

西脇市長 片山象三



▶レントン通り(アピカ前)が歩行者天国に。市制10周年記念「西脇ストリートフェスティバル」を開催(平成27年11月22日)

◀西脇高校生活情報科による播州織ファッションショー。西脇市制10周年記念式典にて(平成27年10月1日)



▲図書館、児童館などの機能を持つ茜が丘複合施設「Miraie」が誕生しオープニングイベントを開催(平成27年10月18日)

— 平成27年度総会・懇親会・ダイジェスト —



昨年1月30日に、平成27年度の総会を都市センターホテル（東京都千代田区）において開催しました。総会では、本会の事業計画や予算などを決定いただきました。その後、お待ちかねの懇親会を開催、多くの新会員さんや初めて懇親会に参加いただいた会員さんを順に紹介し、仲間が増えたことを喜び合いました。また、ふるさとの特産品などが当たる恒例のお楽しみ抽選会、三井弥生副会長の歌唱指導で西脇市歌・多可町歌を斉唱し、大いに盛り上がりました。



平成28年度 総会・懇親会のお知らせ

平成28年1月29日(金)
午後6時30分から
東京・ホテルポール麹町3階エメラルド
において開催する予定です。

今年も楽しい会にしたいと思います。
ぜひ知人・友人をお誘い合わせでご出席ください。お待ちしております♪

- ① 議事進行する小澤会長
- ② 三井副会長による歌唱指導で西脇市歌と多可町歌を合唱
- ③ 小さなお子さんも懇親会に参加
- ④ 総会の様子
- ⑤ 懇親会の最後に参加者全員で記念撮影
- ⑥ 新会員・初参加者の皆さんを紹介
- ⑦ 会場内にふるさとの写真や話題を掲示
- ⑧ 会場を盛り上げる落語家の隅田川馬石さん（本会会員の村上寛さん）

会費の納入について

規約により、本会の会費は総会時に納入することになっています。また、会計年度は毎年1月1日に始まり、同年12月31日をもって終わります。

総会を欠席される方は、直接お納めくださいますようお願い申し上げます。

◆年会費 2,000円

◆口座 次の2種類があります。どちらかにお振込みください。

①郵便局（郵便振替口座） ※振込手数料不要

●口座番号：00930-3-188810 ●口座名：東京西脇多可の会
「払込取扱票」が必要な場合は郵送いたしますので、事務局へご連絡ください。

②三井住友銀行西脇支店

●店番号：441 ●口座番号：5321552

●口座名：東京西脇多可の会事務局
足立英則（アダチ ヒデノリ）

転居等の際はご一報を

住所や勤務先の異動がありましたら、お手数ですが事務局へお知らせください。

ご連絡がない場合、案内文書や広報などをお届けできないことがあります。ご協力をお願い申し上げます。

■新会員募集中■ ぜひご紹介ください！

西脇市と多可町にゆかりのある知人・友人にお勧めください。入会手続きは、いつでもO.K.です。

「加入承諾書」は、西脇市・多可町のホームページからもダウンロードできます。

【西脇市HP】

<http://www.city.nishiwaki.lg.jp>

【多可町HP】

<http://www.town.taka.lg.jp>